



サポチルIn関東 NPO法人 子どもの心理療法支援会 主催

若干名

思春期青年期ワークショップ<基礎>追加募集!

本ワークショップは9月30日に開催予定でしたが、台風のため延期となりました。
この度、日程を改めて開催することとなりましたので、ご案内いたします。

身体的、心理的にも子どもから大人への過渡期である思春期青年期は「揺れ」の大きな時期です。臨床の場では、不定愁訴といった漠然とした不調を訴える子どもや、身体症状を訴える不登校の子どもに私たちは多く出会います。彼らの多くは心理的な葛藤を抱えること自体に困難を抱えていることも少なからずあり、関係を築くことの難しさを感じている臨床家は多いのではないのでしょうか。

思春期青年期の彼らとの関わりは、児童や成人の心理療法とは異なる態度、関わりが求められるかもしれません。児童、成人の連続線上にあるだけとは言い難い、思春期青年期特有の内的世界の理解が私たち臨床家にとって大切になるでしょう。

このワークショップでは、あらためて思春期青年期の心的発達のあり方や精神分析的関わりが彼らの発達過程にどう影響するのか考えていきたいと思います。タビストック・クリニックの思春期青年期部門で学ばれた飛谷渉先生を講師にお招きし、精神分析的な視点から思春期青年期プロセスについて考えていきます。現代の精神分析理論の基礎にある考えを、より私たちの臨床感覚に近い言葉を使って学びます。主体的に考えることやディスカッションを通して、参加者自身の学びとなることを目指したいと思います。

講師:	飛谷渉先生(大阪教育大学保健センター准教授)
日時:	2019年1月6日(日)
	10:30~13:00 【講義】※13時から14時は休憩
	14:00~16:45 【事例検討】
会場:	大妻女子大学 千代田キャンパス(予定)
対象:	思春期青年期の臨床を実践している、 または関心のある臨床心理士、医師、学生
募集人数:	若干名
受講料:	7000円
	サポチル専門会員/ボランティア会員/賛助会員 6000円
	※サポチル会員の方を優先します

■申込み方法

1. 以下の手順に従い、メールにてお申し込みください。
タイトルを「2018サポチル関東思春期青年期WS参加申込」とし、以下の必要事項を記載し、サポチル関東事務局宛て「info-kanto@sacp.jp」にメールを送ってください。

◆必要事項: ①氏名(ふりがな)、②所属、③職種(臨床心理士、医師、その他)、
④E-mail アドレス(携帯アドレスは不可)

2. 参加申込メールの確認後、事務局より、「申込受付メール」をお送りします。

3. 事務局より、「受講可否通知メール」を送信します。

※受講料振込後の申込者によるキャンセルの場合、受講料の返金には応じかねますのでご了承ください

申し込み締め切りは2018年12月10日(月)※定員になり次第締め切ります